

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791

藤代小学校で環境学習を実施 微生物とは？ 微生物の役割？ 環境に役立つEMの働きについて。



環境学習の様子



NPO緑の会は、9月18日藤代小学校に出向いて、4年生2クラスの54人を対象に、総合学習の時間に「微生物について学ぶと共に、EMの環境を良くする働き」についてパワーポイントを使って授業を行いました。

微生物は顕微鏡で見えないと見ることでできない1000分の一ミリから10000分の一ミリの極微細な生物で、地球のお掃除屋さんであるとともに、人間にとって良い働きをする善玉菌や悪い働きをする悪玉菌があること。善玉菌であるEMは、生ごみや畜糞を良質な堆肥にしたり、河川やプールを浄化したり、トイレなどの悪臭対策に効果があること、洗濯や掃除に使うと汚れ落ちが良くなるなどの効果があり、何よりも科学薬品を使わず、人間の環境にとっても良い多くの働きをすることを学習しました。

その後、各クラス毎にEMの使い方や米のとぎ汁EM活性液の作り方を学んだ後、各児童が家庭から持参した2リットルの米のとぎ汁を使ってEM活性液を作る実際の作業を行いました。



米のとぎ汁EM発酵液を皆でプールに投入



こうして作られたEM活性液は10日前後掛かって発酵し完成することから、次の環境学習の時間に、その効果を確かめようとするものです。実際に9月29日には全員の子供により「EMさん頑張つて！」の掛け声とともにプールに投入されました。昨年と同様に当時4年生の児童が作った米のとぎ汁EM発酵液をプールに投入しましたが、今年のプール開き前のプール清掃が、EMの効果で短時間に効率良くできたと先生方に喜んでいただいた実績があります。一連の学習で、児童たちは楽しくEMについて学習し、「EMでどうしてくさい臭いが消えるの?」、「EMは何にでも効くの?」などと熱心に質問するなど、興味津々の様子でした。

1000年後も2000年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!

大規模な水害に見舞われた常総市に NPO緑の会は、EM活性液で支援を開始しました。

本州に上陸・通過した台風18号及び日本列島の東側から近づいた台風17号によって刺激された秋雨前線により、9月8日から10日にかけて鬼怒川流域内を中心に大雨が降り、10日午前6時過ぎに常総市若宮戸にて越水による浸水被害、午後1時ごろに常総市三坂町にて破堤による浸水被害が発生し、甚大な被害が発生しました。

NPO緑の会では、常総市上蛇町のK宅とその隣のお宅、五箇公民館の廃棄物置場、十花町のN宅と近所のお宅2軒、墓所、平町の大生小学校、O宅、新石下町の廃棄物置場などをEM活性液で浄化・消臭作業を実施しています。石岡緑の会鈴木代表、鉾田市の西台虹の友市村代表、茨城町のさわやかエコの会郡司代表および日立市のEMくらしの会関口代表なども応援に駆けつけてくれています。



水害に見舞われた常総市の様子



民家の外回りにもEM散布



ごみ集積場の畳の山にEM散布



大生小学校校庭にEM散布、教室にも散布しました。

編集後記
常総市の大水害から一カ月ほどが経とうとしている。命の危険がおよぶ冠水は収束したが、市民の生活の再建は容易ではない。ほとんどが床上浸水して、畳やふとん、衣類、洗濯機や冷蔵庫、テレビに車など家財の多くは使い物にならない。農作物も稲など壊滅状態である。いたるところで石灰が撒かれているので、粉塵も交じってのどがおかしい。そんな中で、EMは実に効果が早い。散布して5分ほどすると、「臭いが消えた。嬉しい。」との声が続いてくる。一日も早い復興を願わずにはいられません。KF



床上浸水した民家にEM散布

